令和４年度　事業報告書

公益財団法人がん研究振興財団

令和４年度　事業報告書

１．研究助成事業

（１）がん研究助成（公募）　２６，７９０千円

第５５回がん研究助成審議会の審査を経て、次のとおり研究助成金を贈呈した。

一般課題	Ａ	２２名	（２２，０００千円）
一般課題	Ｂ	５名	（２，５００千円）
一般課題	Ｃ	５名	（２，２９０千円）

（２）海外派遣研究助成（公募）　０千円

がんに関する国際会議、国際学会への出席者に対し、海外旅費等の助成を行うものであるが、新型コロナウイルス感染の世界的拡大にともない、海外における入国制限など海外渡航に関わる事業が困難な状況となり、当年度は中止することとなった。

２．関係団体助成事業　１，０００千円

ＵＩＣＣ国内委員会の事業に対し、助成を行った。

３．技術者研修助成事業（公募）　０千円

がん看護等の知識・技術の向上を図るため、コメディカルスタッフの海外研修留学等に対し海外旅費等の助成を行うものであるが、新型コロナウイルス感染の世界的拡大にともない、海外における入国制限など海外渡航に関わる事業が困難な状況となり、当年度は中止することとなった。

４．革新的がん医療実用化研究推進事業

（１）がんになっても生きる希望を持てる事業（HOPE 事業）

がんの本態解明の基礎研究から得られた成果を臨床に繋ぐ「トランスレーショナル・リサーチ（TR）」の若手研究者を育成するため、次の助成を行った。

若手研究者の戦略的育成事業

（トランスレーショナル・リサーチ（TR）研究奨励助成金）（公募）

５名　７，５００千円

（２）研究成果等普及啓発事業　　１６，２１７千円

がん研究の成果を国民にフィードバックする観点から、各種情報媒体を活用し普及啓発に努めた。

① がんサバイバーシップ研究成果発表会　　（2，２８１千円）

開催日　令和５年２月１０日（金）

方　法　国立がん研究センターセミナールームとオンラインのハイブリッド開催

② がん研究シンポジウム開催　　（2，６３１千円）

テーマ　「WGS,Long-read and Beyond」

開催日　令和５年３月１８日（土）

会　場　国立がん研究センター研究棟１階大会議

③ がん関連パンフレットの作成配布　　（１１，３０５千円）

○　がんの統計 2023	４千部
○　がんと告知された小児・AYA 世代の方がまず始めに手に取るパンフレット	５千部
○　知っておきたい放射線治療	２０千部
○　かんたんレシピ 2022	１０千部
○　がん治療中の食事サポートブック	１０千部
○　加仁 50 号	２千部

５．多様化する情報ニーズに対応するためエビデンスに基づいた国民への薬物療法等の情報提供支援事業（がん情報提供支援事業）

２０，５３０千円

科学的根拠に基づく情報を迅速に提供するため、臨床試験情報及び薬物療法プロトコール情報等に関する諸問題や個別目標に直接寄与するための事業を実施した。

（１）患者本位の「がん情報サイト」追加公表

（２）ポータルサイト検討委員会による研究報告公表

（３）患者本位の「がん情報サイト」検索システム導入

（４）がん情報提供支援事業運営委員会による研究報告公表

（５）「がんの統計」等関係冊子の作成

６．広報活動事業（一般財団法人日本宝くじ協会助成事業）　　２４，２４４千円

がん研究の成果を国民にフィードバックするため、ホームページの充実やパンフレット等を作成し、自治体、学校、保健所及びがん診療連携拠点病院等に配布した。

（冊子名）

○ やさしいがんの知識 肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん	１，４１０千部
○ がん検診	１，６４２千部